



金属ごみと油の適正処理

金型を機械で加工する際にどうしても出てくるのが金属の破片や油などの廃棄物。しっかりと分別して処理業者に引き渡すことで、環境に配慮しています。



高い技術で
顧客のニーズに応える

（イ）
ココに注目!!

弊社の強みは、最新の技術と創業以来培った金型の技術です。商品の初期開発支援から試作、初期量産まで対応するワンストップサービスを完行っているほか、1,000分の1mmの単位で調整することが出来る「超精密加工」や最新の5軸加工機を用いるこ



ワールド工業 株式会社 鹿児島工場



ワールド工業 株式会社 鹿児島工場

- 住所 鹿屋市吾平町上名 6162
- 電話 0994-58-5151
- 設立 昭和 63 年 ○代表取締役 今中 猛
- 従業員数 19 人
- 平均年齢 44 歳（本社含め）
- 採用実績 3 人（令和 6 年度）
- 福利厚生 各種保険（雇用、健康、厚生年金、労災）、通勤手当、退職金制度、各種休暇制度



▲金型を加工する機械「マシニングセンタ」が立ち並ぶ工場内の様子

「始まり」を支える仕事

ものづくりの

弊社は昭和49年に創業し、昭和56年にワールド工業株式会社として法人化。昭和63年、吾平町からの企業誘致を受けて吾平町上名に鹿児島工場が完成してから、今年で37年を迎えます。

鹿児島工場で生産しているのはプラスチック部品を形作るための「金型」になります。弊社は兵庫県宝塚市に本社を構えており、鹿児島工場で製造した金型を本社に送り、お客様に納品しています。また、鹿児島工場では金型の設計・加工や機械の管理などの部門に分かれ、日々の業務を行っています。

弊社の金型で生産しているプラスチック部品は、医療器具の一部品のような、普段暮らしの中ではなかなか見られないものから、デジタルカメラの部品やゴルフクラブのグリップなど馴染みのあるものまで、様々な商品に使われています。

金型を作るという仕事は、商品を生産するための最初の段階であり、その後の商品の出来を左右するとても重要な仕事です。そのため「ものづくりの最初の段階を大切にすること」という思いを常に持っており、金型の製作をしています。

鹿児島工場は大きな工場ではありませんが、我々が吾平町で作った金型からできた商品が全国の市場に並び、購入した人の手で使われている場面を見ると、やりがいを感じます。これからも顧客の要望・ニーズに応えていきながら、よりよい製品を作れるように努力していきたいと思っています。



ワールド工業(株) 鹿児島工場
小野田 徹 統括



鹿児島県立 大隅広域公園

〒893-1101
鹿屋市吾平町上名 5354
☎ 0994-58-5197
休園日 12月29～31日
開園時間 月によって変動するため
ホームページを確認



私のおすすめスポットは、「大隅広域公園」です。

学校の遠足で訪れたり、子どもの頃は兄弟でよく遊びに行っていたりしていたので、思い出深いスポットです。特に私はゴーカートで遊ぶことが大好きでした。

ゴーカートは使う人の年齢に合わせて、本格的なマシンでコースを運転できるのでとても楽しいと思います。たまにはご家族やご友人と、ぜひ足を運んで自然豊かな公園でのゴーカートを楽しんでみてはいかがでしょうか。

＜おすすめスポット＞

製造部

田代 翔斗 さん
(24歳/入社3年目)

吾平町上名出身で鹿屋工業高校を卒業。機械を触ったり作ったりすることが好きだったこともあり、転職を機に入社。趣味はスマホゲーム。



＜私の仕事＞

私は主に金型を加工する機械を動かす「マシニング」を担当しています。

元々別会社で働いていたのですが、求人で地元工場がある弊社を知り、入社しました。

機械の操作に関しては、初めは覚えることが多くて難しかったのですが、分からないことがあれば先輩にすぐに聞くことができるので、助かりました。

職場は元々人が多くて、明るい雰囲気なので働いていて楽しいです。これからの仕事の目標は初歩的なミスを減らすこと。毎日の仕事の中でできることをどんどん増やしていきたいと思っています。